

2019年6月17日

各 位

積水化学工業株式会社

## 「AIM Aerospace グループ」の買収に関するお知らせ

積水化学工業株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：高下 貞二、以下「当社」）は、米国ファンド Liberty Hall Capital Partners（本社：米国サウスカロライナ州、Managing Partner：Rowan G.P. Taylor、以下「Liberty Hall」）等と、Liberty Hall 等が保有する AIM Aerospace Corporation（本社：米国ワシントン州シアトル、President & CEO：Daniele Cagnatel）およびその子会社6社（以下「AIM Aerospace グループ」）の全株式を譲り受ける株式譲渡契約を6月14日に締結しました。

AIM Aerospace グループは、航空機・ドローン向けの炭素繊維強化プラスチック（CFRP）等複合材成型品の製造・販売等を行っています。当社は、AIM Aerospace グループの株式取得により、モビリティ材料領域の業容拡大や、基礎技術の強化を図ります。

なお、本買収にかかる費用は510百万米ドル（=561億円\*1）、株式譲渡は2019年後半の見込みです。本件の概要等は下記のとおりです。

### 記

#### 1. 背景

##### （1）当社

当社は、高機能プラスチックカンパニーにおいて、「車輻・輸送」を戦略分野と位置付け、合わせガラス用中間膜や発泡樹脂材料等自動車向け製品の製造・販売を行っています。また、環境・ライフラインカンパニーにおいては、「機能材料」を戦略分野と位置付け、航空機向け成形用プラスチックシートの製造・販売を行っています。また、全社として、中期経営計画「SHIFT 2019 -Fusion-」において、両分野の技術等の経営資源の Fusion（融合）によるモビリティ材料領域における業容拡大を図ることとしています。加えて、2030年度に売上高2兆円、営業利益2,000億円という長期で目指す姿を定め、そこに向けた「新次元の成長」を目指しています。

##### （2）航空機・自動車などのモビリティ業界

航空機業界においては、機体の高い安全性能や環境性能を実現する部材へのニーズが引き続き強く、豊富な新造航空機受注残があり、航空機材料市場は安定して拡大すると見込んでいます。加えて、物流分野等でのドローンの普及も進みつつあります。

一方、自動車業界では、CASE（Connected：コネクテッドカー、Autonomous：自動運転、Shared：シェアリング、Electric：電動化）といったトレンドや、材料技術やIT技術の発達による自動車の飛行機化（フライングカー）を見据えた動きがみられます。世界の自動車生産台数は、当面成長が見込まれており、前述のような自動車の多機能化や高機能化が進んでいることから、当社は、今後も自動車材料市場は安定して拡大すると見込んでいます。

## 2. AIM Aerospace グループの買収のねらい

当社グループは、本買収を、長期で目指す「新次元の成長」への重要な布石と位置付け、AIM Aerospace グループが有する CFRP 等複合材関連技術と航空機業界でのプレゼンスを取り込むことで、モビリティ材料領域を中心とした業容拡大を図ります。

具体的には次のシナジーを期待しています。

### (1) マーケティング・販売面でのシナジー

新規参入が困難な航空機業界において AIM Aerospace グループが有する航空機メーカー等との強固な関係性を活用し、当社グループの耐火・難燃材料等、従来自動車やインフラ・建築向けに展開してきた製品群の航空機市場への用途拡大・拡販を図ります。

また逆に、当社グループが有する自動車やインフラ・建築市場におけるグローバルな販売網を活用して、AIM Aerospace グループ製品の拡販を図るなど、両者の製品・販路を相互に生かしてマーケティング・販売面でのシナジー創出を図ります。

### (2) 研究開発面でのシナジー

AIM Aerospace グループが有する熱硬化性および熱可塑性 CFRP 等複合材関連技術と、当社グループの樹脂配合技術や成形加工技術、熱可塑性 CFRP 関連技術の融合により、自動車業界で進む CASE への対応や、フライングカーやドローン等次世代モビリティの普及を見据えた、安全性能や環境性能向上に資する製品の研究開発促進を図ります。

## 3. AIM Aerospace グループの概要\*2

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 株式取得対象会社  | AIM Aerospace Corporation (エーアイエム エアロスペース コーポレーション)、およびその子会社 6 社            |
| (2) 本社所在地     | 米国ワシントン州シアトル  |
| (3) 代表者       | President & CEO Daniele Cagnatel (ダニエレ カグナテル)                               |
| (4) 事業内容*3    | 航空機・ドローン向け複合材成型品の開発・製造・販売<br>※主要製品群：航空機向けダクト・二次構造材・エンジン部材、ドローン向け外装部材        |
| (5) 株主        | Liberty Hall 他  |
| (6) グループ設立    | 1988 年  |
| (7) 生産拠点*3    | ワシントン州シアトル (2 拠点)、アイオワ州オレンジシティ  |
| (8) 従業員数*3    | 約 1,100 名   |
| (9) 最近の業績*3   | 売上高 178.5 百万米ドル (2018 年 12 月期)  |
| (10) 上場会社との関係 | 資本関係、人的関係、取引関係はありません。   |
| (11) ウェブサイト   | <a href="https://www.aim-aerospace.com/">https://www.aim-aerospace.com/</a> |

## 4. 買収費用

総額 510 百万米ドル (=561 億円\*1) を予定しています。買収にかかる費用は、株式譲渡実行時点での AIM Aerospace グループの財務状況により前後する可能性があります。

## 5. 日程

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 2019 年 6 月 14 日 | 株式譲渡契約締結 |
| 2019 年 後半       | 株式譲渡実行予定 |

## 6. 事業目標

モビリティ材料領域において、2025 年度に売上高 2,000 億円以上を目指します。

## 7. 当期業績への影響

本件の2020年3月期の当社連結業績への影響については、株式譲渡実行後に必要に応じて開示します。

(ご参考) 当期連結業績予想 (2019年4月25日公表)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
当期連結業績予想 (2020年3月期)	1,175,000	103,000	100,000	69,000

## 8. 補足

本株式譲受けにつきましては、関係当局による承認を条件としています。

\* 1 510百万米ドルを、1米ドル=110円で換算。

\* 2 特に注記のない項目は、2019年6月17日時点の情報。

\* 3 AIM Aerospace Corporation およびその関係会社6社を合わせた情報。

(ご参考: AIM Aerospace グループの主要製品と、シナジーを見込む当社グループの主な製品)

AIM Aerospace グループ の 主要製品	航空機向け			ドローン向け
	空調ダクト	二次構造材		外装部材
		内装接合部材	外装部材	
				

シナジーを 見込む 当社グループ の主な製品	高機能プラスチックカンパニー		環境・ライフラインカンパニー	
	発泡樹脂製品 (耐火・難燃材料)	カラーカーボン (金属コート炭素繊維)	成形用プラスチックシート	熱可塑性CFRP
				

以上

### 本件に関するお問い合わせ先

積水化学 広報部 石川・中村 TEL: 03-5521-0522 FAX: 03-5521-0510